

I. レビ記第 25 章 8 節から 17 節のヨベルの年は、イザヤ書第 61 章 1 節から 3 節で予言として記載され、ルカ第 4 章 16 節から 22 節で実際に成就されています:

イザヤ 61:1 主エホバの霊が私の上にある。エホバが私を油塗られたゆえに、…良い知らせをもたらし、…彼は私を遣わされた。捕らわれ人に自由を告げ知らせ、
2 エホバの受け入れるヨベルの年…を告げ知らせ、…

A) ヨベルの年には、二つの主要な祝福がありました。それは、それぞれの人がある自分の失われた所有地に帰ることと、奴隷状態からの解放です:

① ヨベルの年には、自分の所有地(良き地の自分の割り当てられた分)を売ってしまったすべての人は、それを贖う値を払うことなしに、自分の所有地に帰りました。また、自分自身を奴隷状態へと売ってしまったすべての人は、自由を再び得て、自分の家族に帰りました。

レビ25:10 あなたがたは五十年目の年を聖別し、全土にわたってすべての住民に、解放をふれ示さなければならない。それはあなたがたにとってヨベルである。あなたがたは、それぞれ自分の所有地に帰り、それぞれ自分の家族に帰らなければならない。

② 自分の所有地に帰り、自由になって自分の家族に帰ることが表徴しているのは、新約のヨベルにおいて信者たちが、彼らの失われた神聖な所有地としての神に帰り、すべての束縛から解放され、彼らの神聖な家族としての召会に帰ったことです。【月】

B) 旧約の予表では、ヨベルは一年間、続きました。しかし、その成就では、ヨベルは新約時代全体、恵みの時代を指しています。これは、帰ってきた罪の捕囚を神が受け入れる時であり、罪の束縛の下で圧迫されていた者たちが神の救いの解放を享受する時です。

レビ25:11 五十年目の年は、あなたがたにとってヨベルである。あなたがたは種をまいたり、自然に育ったものを刈り取ったり、枝を刈り込まなかったぶどうの木からぶどうを集めたりしてはならない。

イザヤ49:8 …私は受け入れられる時にあなたに答え、救いの日に私はあなたを助けた。私はあなたを守り、あなたを与えて民の

契約とし、地を復興し、荒れ果てた地を嗣業として割り当て。

C) 恵みの時代における信者たちのヨベルの享受(彼らに対する神の恵みとしてのキリストを享受すること)は、千年王国におけるヨベルの満ち満ちた享受をもたらし、新天新地の新エルサレムにおける最も満ち満ちた享受をもたらします。【火】

II. ヨベルの年は、恵みとしてのキリストが、彼の恵みの言葉によって、私たちの中へと分与されて、私たちの享受となる時代です。新約のヨベルは、私たちの救いを狂喜する時代です:

レビ25:12 それはヨベルであり、あなたがたには聖だからである。…

13 このヨベルの年には、それぞれ自分の所有地に帰らなければならない。

A) 新約時代は、狂喜する時代です。キリストは、狂喜する人です。もし私たちが神の御前で一度も狂喜したことがないなら、これは、私たちが神に対する十分な享受を持っていないことを示します。

詩篇100:1 全地よ、エホバに向かって喜びの騒ぎ声を上げよ。

2 喜びをもってエホバに仕えよ。喜び歌いつつ彼の御前に来たれ。【水】

B) 「ヨベル」の意味は、悩みや思い煩いがなく、心配や気がかりがなく、欠け目や欠乏がなく、病や災いがなく、何の問題もなく、あらゆる益を受けることです。このゆえに、すべての事は私たちの心を喜ばせ、満足させ、そして私たちは思い煩うことがなく、安心し、狂喜し、歓喜します。

C) 私たちは主イエスを、私たちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。私たちは彼を持てば、私たちの所有地としての神を持ち、罪とサタン束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます:

使徒26:18 彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、私にある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである。

① 私たちがキリストを私たちの救い主また命として受け入れる時、彼は私たちの中へと入って来て、私たちのヨベルとなります。しかし、私たちが彼に私たちの中で生きていただかないなら、また私たちが彼によって生

きていなければ、私たちは実際的にはヨベルの中に生きていないのです。

Ⅱコリント6:2 なぜなら、彼は言われるからです、「受け入れられる時に、私はあなたに聞き、救いの日に、私はあなたを助けた」。見よ、今は喜んで受け入れられる時です。見よ、今は救いの日です。

②もし私たちの心が主以外の人、事、物に付けられているなら、これは偶像礼拝です。その終局は苦悩です。

③もし私たちがキリストに私たちの中で生きていただくなら、また私たちが彼によって生きるなら、あらゆる事は私たちにとって満足のいくものとなります。そうでなければ、あらゆる事は問題となり、すべてはヨベルではなくなります。

D) 私たちがすべてを含むキリストを得て、私たちの享受とした後はじめて、あらゆる事は私たちにとって満足のいくものとなることができます。私たちがあらゆる種類の環境に直面するとき、私たちが静まらせ、悩みから解放することができるのは、外側の人、事、物ではなく、私たちの内側のキリストです。【木】

Ⅲ. ルカ第4章におけるヨベルの告知知らせは、ルカによる福音書全体の中心思想を支配します。ルカ第15章における放蕩息子のたとえは、ヨベルの卓越した例証です：

A) 放蕩息子は、父の家を去り、自分の所有と自分自身を売ってしまいました：

①器の中にあるものは、器の所有です。そして人は神の器です。こういうわけで、人は自分の所有また享受としての神を持っていなければ、むなしく、貧しいのです。

ローマ9:23 しかも、栄光へとあらかじめ用意しておられたあわれみの器に、彼の栄光の豊富を知らせようとされたとすれば、どうなのですか？

詩篇16:5 エホバは私の嗣業の分け前、また私の杯の分け前です。あなたは、私のくじによる分け前を堅く保ってください。

②アダムは命の木を受け入れなかった時、神の享受についての自分の分を失ってしまいました。この世の信じていないすべての人は、自分の所有また享受としての神を失っています。そして、自分の肢体を罪へと売って、罪の奴隷となっています。

③人生は労苦と悲しみにすぎず、瞬く間に過ぎ去ります。人生の真の状態は、空の空、

むなしさのむなしさです。すなわち、風を捕らえるようなものです。

④墮落した人々には、真の住まいがありません。彼らは漂い、さまよっており、家がありません。なぜなら、神が人の真の住まいであるからです。

B) ある日、放蕩息子は、自分の所有と父の家に戻りました。それはヨベル、すなわち、自由でした。あらゆる事は喜びと満足となりました：

①贖いにおいて、神は私たちの所有であり、私たちに享受を得させます。救われることは、私たちの嗣業へと戻り、神へと戻り、神へと帰り、神を私たちの所有として新しく享受することです。

エペソ1:13 あなたがたは真理の言、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、また彼の中で信じ、彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。

14 この聖霊は、私たちの嗣業の担保であって、獲得された所有の民の贖いをもち、彼の栄光の賛美となるためです。

②救われることは、神を得ることです。私たちは神を持つとき、あらゆるものを持っています。神がなければ、私たちは何も持っていません。

③神はキリストにあって、私たちの祝福の分となりました。しかし、多くのクリスチャンは喜んでおらず、輝いていないライトのようです。なぜなら、彼らは「スイッチを入れる」ことをしないで、神を自分たちの分としないからです。

C) 父が息子を受け入れたことと、息子が父と父の家に戻ったことは、息子にとってはヨベルの年、すなわち、恵みの年でした：

①神はキリストにあって肥えた子牛となり、悔い改めて戻ってきた放蕩息子の享受となりました。

②これは、レビ記第25章11節から12節と一致します。それは、人々はヨベルの年には、まいたり刈り取ったりしてはならず、ただ食べて享受しなければならなかったと言っています。いったん私たちが悔い改めて、神へと戻り、主イエスを受け入れるなら、私たちは内側で神を得ます。これが私たちのヨベルの開始です。

③私たちは、御父の雇ったしもべではなく、享受する彼の子たちです。私たちは今から永遠に至るまで、絶えず神を私たちの所有として享受することができます。【金、土】

経験①:ヨベルの福音を聞いて解放されたあなたは、友人にヨベルの福音を伝えるべきである

エペソ人への手紙第2章12節は、今日この世で生活している人たちには希望がなく、神がないと言っています。裕福でも貧しくても、身分の高い人も低い人も、文化的な人も野蛮な人も、すべての人は同じです。すべての人に希望がなく、神がありません。それだけでなく、人々は今日、自分自身を罪とサタンに売るまでに墮落してしまいました。

基本的な問題は、人が自分自身を売り、神を失ったということです。こうして、人は完全に自分の自由と自分自身の所有を失い、奴隷となったのです。パウロはローマ人への手紙第7章14節で言います、「私は肉であって、罪の下に売られているのです」。未信者だけでなく、信者である多くの者さえ、パウロの下にある奴隷状態からまだ完全には救い出されていないのです。

ヨベルの年には、二つの主要な祝福があります。それは、それぞれの人々が自分の失われた所有地に帰ることと、奴隷状態からの解放です。私たちは真に自由になって、神を自分の所有として享受することができるのを願うなら、主イエスを真のヨベルとして私たちの中に受け入れなければなりません。彼を持つなら、私たちの所有は回復され、私たちの自由は私たちに戻されます。主イエスは私たちを解放して、私たちが神を所有として持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由を得るようにされました。

私たちのうち、主の恵みを経験した者はみな、救われる前には自由がなく、何も自己規制が利かなかつたと証しすることができます。今や私たちは救われており、主は私たちを内側から解放されたので、私たちはもはや奴隷ではありません。それだけでなく、私たちは所有としての神に連れ戻されました。主イエスはマタイによる福音書第11章28節で言われました、「すべて労苦し重荷を負っている者は、私に來なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える」。私たちはもはや、労苦し重荷を負っている者ではありません。私たちは自由を得て、安息を享受する者です。さらに、私たちはもはや貧しくありません。そうではなく、私たちは神を嗣業として持っています。これがヨベルの年の意義です。

中高生/大学生編

OL:旧約の予表では、ヨベルは一年間、続きました。しかし、その成就では、ヨベルは新約時代全体、恵みの時代を指しています。これは、帰ってきた罪の捕囚を神が受け入れる時であり、罪の束縛の下で圧迫されていた者たちが神の救いの解放を享受する時です。

ルカ4:18『主の霊が私の上にある。彼が貧しい人たちに福音を宣べ伝えるように、私に油を塗られたからである。彼は私を遣わして、捕らわれ人たちには解放を、盲人たちには視力が回復されることを告げ知らせ、圧迫されている人たちを解放して去らせ、19 主の受け入れる年、ヨベルの年を告げ知らせるのである。』

FN「貧しい人」:天的に、靈的に、神聖な事柄で貧しい人たち。

FN「捕らわれた人」:捕虜、サタンの束縛下の追放者、囚人。

FN「視力が回復される」:視力が回復されることは、サタンの力から解放されることと関係があります。

FN「圧迫されている人」:「粉々に砕く」を意味する動詞から。ここでは、病や罪の中でサタンの下に圧迫されていることを示します。

レビ記のヨベルの解放の啓示から、あなたは、「貧しい人であれ、普通の人であれ、お金持ちの人であれ、あるいは高い誉れのある人であれ、蔑まれた人であれ、すべての人はサタンの束縛と抑圧の下で、苦しんでいる」ことを、はっきりと認識してください。

新約になって、主はヨベルの年を告げ知らされました。ハレルヤ！主に感謝します！新約の信者であるあなたは、サタンの奴隷状態から解放され、神をあなたの分け前として享受するヨベルの生活を行うことができます。実際的な学校生活で、嫉妬、競争心、焦り、怒りの爆発、高ぶり、劣等感などが内側から出てくる時、主の御名を呼び、これらの束縛から解放され、更に主を豊かに享受することを経験できますように。アーメン！

クリスチャン以外、誰も束縛から解放され得る人はおりません。サタンの束縛から解放され得るのは、あなたです。日本ではカトリック(0.4%)も含めて、クリスチャン人口は千名のうち七名だけです。あなたは日本人を愛し、彼らのために、ヨベルの歓喜する生活の証しを持ち、彼らに福音を伝える志を持ってください。あなたは、「自分は救われているが、クラスメイトが救われるかどうかは彼らの問題である。自分とは関係がない」と考えてはいけません。

異邦人の特徴は、束縛、苦悩、貧しさ、暗闇、奴隷状態です。あなたは彼らの状態を外側だけで判断してはいけません。彼らはお金持ちの子供であれ、有名な家系の子孫であれ、誰でもヨベルの福音の告げ知らせを聞き、救われる必要があるのです。まず、あなたは次のように祈ってください、

「おお主イエスよ、私は自分のために、またクラスメイトのために、ヨベルの歓喜する生活を送ります。困難があっても、失敗しても、自分の罪を告白し、ヨベルの生活に戻ります。

私の友人たちをあわれんでください。私は彼らがサタンの束縛の下で苦しみ、最終的に火の池で滅びてしまうことを見たくありません。私は彼らのために祈ります。彼らに福音を伝える機会を私に与えてください。主よ、彼らを救ってください！」

経験②:外側の人・事・物ではなく、内側のキリストに心向け、キリストに生きていただく時、ヨベルの歓喜する生活を送ることができる

「ヨベル」の中国語は、「あらゆる事は人にとって満足のいくものとなる」を意味します。あらゆる事が私たちにとって満足のいくものとなる時、私たちはヨベルの中にあります。「ヨベル」の意味は、悩みや思い煩

いがなく、心配や気がかりがなく、欠け目や欠乏がなく、病や災いがなく、何の問題もなく、むしろ、あらゆる益を受けることです。このゆえに、あらゆる事は私たちにとって満足 of いくものとなります。どうして人は今日、あらゆる事を持って満足 of いくものとなることができるのでしょうか？日ごとに私たちの人生におけるあらゆる事が、私たちの心の願いの満足 of いくものではありません。おそらく物事が今日、満足であっても、明日はそうでないかもしれません。ですから、私たちの人生は必ずしも満足させるのではなく、私たちの環境は必ずしも喜ぶべきものではありません。

私たちがすべてを含むキリストを得て、私たちの享受とした後はじめて、あらゆる事は私たちにとって満足 of いくものとなることができます。ピリピ人への手紙第 4 章でパウロは、あらゆる事が彼の満足 of いくものとなる程度にまでキリストを知り、経験したことを示しています。彼は言います、「私はどんな境遇でも、満ち足りることを学んだからです。私は卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、私は飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」(ピリピ4:11~13)。私たちがあらゆる種類の環境に直面するとき、私たちを静ませ、悩みから解放することができるのは、外側の人、事、物ではなく、内側のキリストです。

経綸によれば、キリストはすでに来られたので、ヨベルの時代はここにありますが、もし主イエスに私たちの中へと入って来ていただかなければ、私たちの中にヨベルはありません。こうして、経験によれば、キリストが私たちの中へと入って来て、私たちのヨベルとならなければなりません。それだけでなく、たとえ私たちがキリストの中へと信じて、彼に私たちの中へと入って来ていただいても、もし彼に私たちの中で生きていただかず、彼によって生きないなら、私たちは実行上ヨベルの中に生きていないのです。私たちはある事柄でキリストによって生き、彼に私たちの中で生きていただくなら、その事柄の中でヨベルを享受します。このようにして、その特定の事柄に属するあらゆる事は、私たちにとって満足 of いくものとなります。

在職青年/大学院編(大学院生は学生であっても、大学院の性質上、半分、在職青年と考えられます)

OL:もし私たちの心が主以外の人、事、物に付けられているなら、これは偶像礼拝です。その終局は苦悩です。もし私たちがキリストに私たちの中で生きていただくなら、また私たちが彼によって生きるなら、あらゆる事は私たちにとって満足 of いくものとなります。そうでなければ、あらゆる事は問題となり、すべてはヨベルではなくなります。

もしあなたの心が社内の同僚との競争や昇進などに付けられるなら、あなたは直ちにヨベルの外におり、偶像礼拝者になってしまいます。

Iヨハネ 5:21 小さい子供たちよ、偶像から自分自身を守りなさい。

FN「偶像」:この偶像は、真の神に取って代わるあらゆるものを指します。私たちは真の神の子供たちとして、油断なく警戒し、これらの異端的代替品と、真実で実際の神に取って代わるすべてのむなしいものから、自分自身を守らなければなりません。私たちはこの神と有機的に一であり、彼は私たちにとって永遠の命です。これがこの手紙の結論であり、彼のすべての小さい子供たちに対する老齢な使徒の警告の言葉です。

Iヨハネ 2:14…若者たちよ、…あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです。

15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません。

16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。

若いビジネス・パーソンであるあなたは、偶像、肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄に打ち勝つために、神の言葉を内側に住ませる必要があります。神の言葉があなたの中に住むとは、実際にはキリストがあなたの中に住むことです。神の言葉がなければ、あなたは悪魔の誘惑に抵抗することができず、異邦人と同じように競争心や嫉妬で満たされ、苦悩に満ちた生活を強いられます。あなたはビジネス・ライフでキリストを経験し、享受することを追い求めてください。その結果、パフォーマンスが上がるので、あなたは出世する可能性が高くなります。しかし、あなたは決して肉の欲にしたがって出世を追い求めてはいけません。出世は空ですが、キリストは実際です。キリストを追い求めて、あなたのビジネス・ライフがヨベルの生活、歓喜する生活になることができますように。

祈り:「おお主イエスよ、私はヨベルの生活、歓喜する生活を送りたいです。しかし、私の中には世と世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄があることを認めます。私は情欲や生活の虚栄にしたがって生きる私の罪を告白します。主よ、私の罪を赦してください。

私がサタンに打ち勝つために、神の言葉を私の中に住ませる必要があります。あなたの言葉によって私を清め、育み、養い、強めてください。アーメン！」

詩歌 441 を使って作った新しい詩歌(曲が異なる)

- わがかみ わがあい わが分けまえ
なれのほか天地に もとむものなし。
天も地もすべて むなしさのみ!
なれのよう慕うもの、 天地になし。
- なれはわがたから、いのち、住まい
他のもの受けても、わが神でない。
輝く財宝、なんとむなし!
なれに比べれば、おもちゃのよう。
- たとえ全地を得て、星を得ても、
なれ共になくば あわれの極み!
莫大な富を、人は求む。
されど、なが同在、われの満足、なれを求む。